

ぜったい
もう絶対イヤだ！
さべつ
差別でつらい思いをするのは



しょうがいしゃさべつ
なくそう障害者差別！

けんじょうれい じつげん
県条例で実現を！！

だいこうどう
みやぎアピール大行動 2019

2019.9/23 (月祝) 12:20 開場
せんだいメディアテークオープンスクエア
だいしゅうかい こうしん
大集会 12:50 デモ行進 15:50

12:50- アピール大集会

していはつげん
〔指定発言〕

みやぎけんちょうかくしょうがいしやきょうかい
宮城県聴覚障害者協会
きゅうゆうせいほごほうこくばいそしやう
旧優生保護法国賠訴訟について

けんじょうれいけんとうじょうきょうほうこく
〔県条例検討状況報告〕

みやぎけんしやうがいふくしか
宮城県障害福祉課

〔リレートーク〕

とうじしや かぞく かんけいしや
当事者・家族・関係者より

15:50- アピール大行進 (デモ行進)

せんだいメディアテーク出発 ⇒ 一番町アーケード

⇒ 仙台駅前 仙都会館前解散

手話通訳 / 要約筆記

資料代 500円・申込不要

アピール大行進 (デモ行進) ルート



主催 / みやぎアピール大行動実行委員会

事務局 / 仙台市宮城野区松岡町17-1 (コッペ内) Tel: 090-9740-7799 (代表: 鷲見)

FAX: 022-299-1279 メール: appeal318@hotmail.co.jp

もう絶対イヤだ！差別でつらい思いをするのは なくそう障害者差別！県条例で実現を！！

いま、宮城県では、障害者の差別を禁止するための条例をつくらうとしています。これは、障害があること
によって、差別を受けたり、不利益を受けたりすることがないように、宮城県でルールをつくらうというこ
とです。これまでに全国各地で同じような条例がつくられています。

条例づくりで何よりも大切なのは、障害のある人たちと、いろいろな人たちが同じ場で、一緒に内容を
考えることです。今年のアピール大集会では、よりよい条例をつくるために、みんなで一緒に考える場を
つくります。県の担当者による検討状況の報告と、さまざまな障害のある人が「リレートーク」を行います。

また、宮城県では手話言語条例の検討も進めています。なぜ手話言語条例が必要なのか、当事者のお
話を聞き、理解を深めます。

さらに、現在、旧優生保護法国賠訴訟を闘っている方にもお話をさせていただきます。被害者の声を直接
聞き、過去に向き合うことが、とても大切だからです。

ぜひお誘いあわせてお越しください。わたしたち一人ひとりの声を条例に活かして、
もっと暮らしやすい宮城をつくっていきましょう！



●そもそも、なんで条例をつくるの？

→誰もが住み慣れた地域で、自分らしく
社会の一員として尊重されて生きる権利が
あります。

…とはいえ、意図しないまま差別しているこ
ともあります。合理的配慮と言われてもどう
すればいいかわからないこともあります。そ
こで、共通のルール(ものさし)をつくるため、
障害者差別解消法や各地で差別をなくすた
めの条例が制定されることとなったのです。



●条例の役割って？

3つの大切な役割があります。

1. 何が差別かを定める共通のルール
(ものさし)をつくる。
 2. 差別がおきたときに、話し合いをして
解決する実効性のある仕組みを整える。
 3. 誤解や偏見を取り除き、差別を未然に
防止する実効性のある仕組みを整える。
- この3つの役割を果たせるような条例を
つくるのが大切です。

【みやぎアピール大行動実行委員会とは】

みやぎアピール大行動実行委員会は、障害者自立支援法「応益負担反対」を訴え、12年前に県内の
障害者、家族、支援者で結成され、現在37団体がつどい、より良い障害者福祉を求め精力的な活動を
行っています。

毎年300人程がつどう集会 & パレードを行う取り組みを柱に、各種要望活動などを行っています。